

7月 園だより

ぎょうじよてい 7・8月の行事予定

7月

- ・ 4日 (土) おたのしみ DAY (年長児のみ)
たなばたかい
- ・ 7日 (火) 七夕会
ひなんしょうかくんれん
- ・ 17日 (金) 避難消火訓練

8月

- ・ 18日 (火) エンジョイプレイ (幼児のみ)
ひなんしょうかくんれん
- ・ 20日 (木) 避難消火訓練
だい かいやくいんかい
- ・ 29日 (土) 第2回役員会

なつ はだ 夏の肌トラブル

か 蚊

に刺されたとき

大人が蚊に刺されるとすぐにはれ、じきに治ります。ところが、小さな子どもは刺されてしばらくたってから、びっくりするほど大きくはれて水ぶくれができることもあります。かき壊さないように、早めに手当てしましょう。

ケアは

刺されたところを水で洗い流します。



かゆみ止めを塗ったり、ぬらしたタオルやハンカチで包んだ保冷剤などを当てたりして、かゆみをやわらげます。



あせも

ができたとき

汗を分泌するところに、汗やほこりなどがつまって炎症が起こった状態です。汗をかきやすい部位に小さなポツポツがたくさんできて、かゆくなります。

ケアは

シャワーなどで汗をよく洗い流します。外出先などでは、汗の成分が皮膚に残らないよう、ぬらしたタオルで汗を拭き取りましょう。



予防は

汗をよく吸い取る綿の肌着やシャツを着用する。

とびひ

ができたとき

皮膚をかきむしって傷ができたところに、細菌が感染して、ジクジクした湿疹(とびひ)ができます。とびひは感染力が強いうえに、ひどくかゆいため、かいた手で体のほかの部分に触ると、そこにも湿疹が広がります。

ケアは

シャワーを浴び、皮膚の清潔を保ちます。かき壊して広がる、周りに感染するのを防ぐためにガーゼなどで保護することがあります。

肌トラブルを防ぐために

- 皮膚を傷つけないようにつめを短く切る
- かゆみをやわらげるように冷やす、かゆみ止めを塗る
- 治りが遅い、広がった、湿疹が変化したときは、小児科や皮膚科を受診

咽頭結膜炎(プール熱)やヘルパンギーナ、手足口病などの感染症が流行しやすい季節になりました。体調の変化には十分に注意していきましょう。